



<本年度クラブ会長方針>

No.1528

広げようロータリーの想い、職場に社会に

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 大原敏正 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
 幹事 鬼頭茂成 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
 URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

ロータリーは機会の扉を開く

<2020-21年度 R.I.テーマ>

R.I.会長 ホルガー・クナーケ

第1797回例会

平和構築と紛争予防月間
 令和3年2月20日(水)
節分例会(職場例会)
 於 大須観音堂生院
 会員54名

出席計算数 49名中44名出席
 出席率 89・80%
 前々回出席率 100%

例年プログラム

★節分例会

異例の節分となりましたが、疫災
 が消えてなくなりませ様に。

大原 敏正・仲林 宏昌
 大上 昇延・松岡 毅
 田崎 雅三・岡村 隆徳
 コロナを豆で飛ばしてください。
 岡部 快圓

大須観音節分会によつて。
 岡部 快雅

良い年となります様。柴岡 正将
 鬼頭 茂成・渡辺 観永

加藤 巳千彦・近藤 宏一郎
 尾上 昇・草野 勝彦
 今日も節分楽しいです。高木 政義
 大須なつフォトコンテスト締切の
 2月10日です！ 丹下 富博

福は内 新型コロナは外！
 吉田 隆彦

堀江 英弥・内藤 明
 異例の節分例会、コロナに負けま
 せんように！
 藤田 徹・木村 光徳
 林 順治

コロナ、早く収束しますように。
 春日井和良・杉本 忠夫
 岡田 尚彦・横川 誠人
 立春。 浅野 彰
 福が皆さんにありますように。
 木村 吉伸
 カミさんの誕生日です。横井 衛

大須観音節分例会

職業奉仕委員長 松本 哲朗



今年はいよいよ
 124年
 ぶりに立
 春が2月
 3日とな
 り節分も
 2月2日
 ですが、
 大須観音
 さんは例
 年通りの2
 月3日に節分会を行うこと
 当クラブ節分例会も3日の開催と
 なりました。

緊急事態宣言の出ているなか、
 密を避けるため例会せしめも
 会食も行いませんでしたので、受
 付で豆まき券と和食処万松に前日
 店を休業して作ってもらった恵方
 巻2本ずつを持っ
 て帰っていただき
 ました。

豆まきは例年通
 り櫓の上から撒き
 ますが、下には豆
 を受ける人は入れ
 ません。



す宝船を置き、
 そこに向って撒
 くという今年な
 らではの風景で
 した。
 家でくつろい
 で丸かじりの恵
 方巻もおいしか
 ったと評判も良く、無事「コロナ禍
 での節分例会ができました。」



その他・お知らせ

米山愛学生挨拶

米山愛生 馬 健淋 (けんりん)

名古屋大須ロータリーの皆さん、
 あけましておめでとうございます。
 あつという間に2020年が過ぎ
 2021年になりました。日本では
 1月1日が新年で一年の終わりに
 ますが、実は中国で1月1日のこ
 とを元日と言つて、今年の2月12
 日の春節が中国にとって2020
 年の終わりとなります。なぜわざ
 ら二つのカレンダーの概念がある
 かというと、以前から中国では農
 業をやる人がたくさんいて、天文
 や天気を参考して作られたカレン
 ダーになります。このカレンダー
 には、「24節気」という天気や気
 温などの特定な日を記録してきた
 みたいなんです。例えば「三伏」とい
 うのは、夏の始まりでこの日から
 だんだん暑くなる日で、「立冬」は



世界中に伝わ
 っています。
 以上、1月
 の報告になり
 ます。改めて
 あけましてお
 めです。

広島被ばく樹木(緑の遺産)報告

社会奉仕委員長 丹下 富博

田中作次氏が日本人として3人
 目のR.I.会長を務めた12-13年度
 国際ロータリーは、ベルリン、ホ
 ルル、広島市の3都市で「ロータリ
 ー世界平和フォーラム」を開催し
 ました。これを記念して、平和への
 想いを未来へ伝え残すことを目的
 に、広島被ばく樹木植樹の募集が
 あり、名古屋大須RCもこれに賛
 同しました。植樹する場所として、
 大須観音・岡部快圓さんにご協力
 をいただき、2013年11月22日、
 本堂西側の境内に、被ばく樹木イ
 チョウの苗が植樹されました。そ
 れから7年が経ち着々と成長して
 いますので
 報告
 申し上げます。



国際ロータリー・ニュース

「RI会長エレクトが」

21-22年度の会長アーマを発表

2021年2月11日

人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方。なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を豊かにできるのだから。国際ロータリーの次期会長であるシエカール・メータ氏はこう述べ、奉仕プロジェクトへの参加を会員に呼びかけました。

カルカッタ・マハナガル・ロータリークラブ（インド、西ベンガル州）に所属するメータ氏は、ロータリー国際協議会中の2月1日、次期地区ガバナーに向けて21-22年度の会長アーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を発表しました。地区ガバナーエレクトを研修するための年次行事である国際協議会は当初、オランダ（米國フロリダ州）で開催予定でしたが、新型コロナウイルス流行のためバーチャル（オンライン）で開催されました。



ロータリーでの奉仕プロジェクトへの参加を通じて自身が人間として成長したことに触れたメータ氏は、その経験を通じてほかの人のニーズに目を向けるようになった

たと述べました。クラブ入会後までもなく、メータ氏はインドの僻村を支援するプロジェクトに参加しました。そこで村人たちの状況を目にしたことで、奉仕への決意が固まりました。「同胞たちが抱える苦境を真に理解しました」とメータ氏は語ります。その後、子どもへの義肢の寄贈、家庭への安全な水と衛生設備の提供、地域の医療施設の改善など、数々の取り組みに参加しました。

「ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところへ目を向け、人類全体を考えるようになりました」とメータ氏は、「奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じように、奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である」という信条を持つようになった

メータ氏は、次期ガバナーに対し、次年度に自らが模範となって導き、測定可能・持続可能なインパクトをもたらす奉仕プロジェクトへの会員の参加意欲を引き出すよう呼びかけました。また、各クラブが「ロータリー奉仕アーマ」を実施することを求めました。

「ガバナーとしての役目が終わるとき、皆さんは、ご自身のリーダーシップ、ご自身がロータリアンとロータリーアクターに与えたインスピレーションのおかげで、会員による奉仕を通じて世界が前よりもよくなったと感じるはずです。」

多様性と会員基盤の向上

焦点を当てる

メータ氏は、21-22年度には会員が女子のエンパワメントに力を注ぎ、教育、リソース、奉仕機会など、未来の女性リーダーの成功に必要な手段を与えてほしいと述べました。その上で、多様性、公平性、開放性に対するロータリーの信念を会員が活動の指針とすることが大切であると語りました。

「世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるように導くことができます。」

奉仕を通じて大きなインパクトをもたらすには、ロータリーの会員基盤を広げる必要がある、とメータ氏。全世界の会員数は、過去20年間、約120万人のまま横ばいです。このため、2022年7月1日までに130万人に増やすことを目指して地区で率先して活動するよう、次期ガバナーに呼びかけました。メータ氏の「Each One, One More」(みんなが一人を入会させよう)は、今後17カ月間、全会員がロータリーに一人を入会させることを求めるイニシアチブです。

会員基盤を広げながら、ポリオ根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、地域社会への奉仕を続ける

2021.1.20 E-mail from Türkiye Cumhuriyeti

(大原敏正会長へのメッセージ返信)

ご連絡、ありがとうございます。ご返信が大変遅くなってしまい、本当に申し訳ございません。最近、期末試験で手が離せない所でした。どうもすみません

トルコも世界と同じようにコロナと戦っていますが、2021年は昨年よりもっと良い年でありますように。世界中の皆さまが健康であることを願っています。

自分自身が撮った写真ではないですが、大学のウェブサイトやネットで見つけた写真をとりあえず送ろうと思います。トルコのお話をしてくださったら、名古屋大須ロータリークラブの皆さまにうちの大学やカッパドキアの冬景色を見せてくださいますか。よろしく願い致します。

また自分も綺麗な写真を撮ったら、お送り致します。皆さまに宜しくお伝えください。



2月25日(木)例会の案内
オンライン例会(ハイブリッド方式)

執筆: Ryan Hyland
Rotary International
(国際ロータリーIIRF)

ていくのは野心的な目標であることとを認めた上で、「だからこそ皆さんの意欲が駆り立てられるでしょう」とメータ氏。「挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです」

卓話

「名古屋子ども・若者総合相談センターの取り組み」
名古屋子ども・若者総合相談センター

センター長 永井 文子さん

公共メーシ向上委員会

小澤 幸男・横川 誠人
住田 正夫・山口 正孝

*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。



2014-15年度米山記念奨学生
CIFTCI UMMUHAN (チフウチウムハン)